

福祉職場で働き続ける10の魅力

(東京の福祉施設初任者職員が感じる福祉の仕事の楽しさや魅力)

1 「ありがとう」という感謝の言葉・笑顔が見られる仕事



- ・利用者やご家族から直接「ありがとう」という感謝の言葉を頂けること。
- ・ふとした瞬間に訪れる幸せな時間、「笑顔」と「ありがとう」。
- ・利用者が笑顔で過ごしているのを見ると、とてもやりがいがある仕事だと感じる。
- ・大変なこともあります、「ありがとう」「いつも迷惑かけるね」とそのひとことで疲れがふっとぶ。
- ・どんな小さな事でも感謝される喜び、利用者と一緒に1日を楽しんでやれるのが魅力。
- ・「出来た」「うれしい」「たのしい」など、利用者の笑顔が見られること。

2 嬉しい!楽しい!そして達成感、満足感も得られる仕事

- ・悩みを共感し、手伝い助け合い、小さな目標を達成できた時の喜びがとても大きく、笑顔が増える。
- ・利用者との関わりの中で自分が元気や笑顔をもたらすことができると感じる。
- ・コミュニケーションをとることが楽しい。
- ・利用者の方々が我々に与えてくれる「クスマ」とできる小さな笑いが、この仕事を続ける原動力。
- ・がんばった分だけ、よい結果で戻ってくる。



3 ひとりひとりの幸せを考え、未来につながる仕事



- ・利用者ひとりひとりの幸せを考えられるところが福祉の仕事の魅力だと思う。
- ・ひとりひとり個性があり、難しい人であっても本気で傾聴し、関わることで心を開いて親しみをもち接することができるようになることにやりがいを感じる。
- ・未来につながる仕事であること。大きくなった子どもの笑顔がうれしい!
- ・その子が退所してから安定した生活ができるよう、毎日どうしたらよいのかと考え、その答えが見つらず悩むこともあります、そこもまたやりがいと魅力を感じる。
- ・利用者とのいまの関わりが明日、明後日…十年後にもつながっているところ。

4 変化や成長を近くで感じ、利用者や家族、職員とともに喜べる仕事

- ・いままでできなかったことができるようになったときの達成感や笑顔は自分の喜びになっている。
- ・普段しゃべらない利用者がしゃべってくれたりすること。
- ・子どもの頑張りや成長をそばで見られる事。
- ・子どもたちが目を輝かせて遊んでいる姿、できなかった事ができるようになった事を子どもと保護者と喜び合える瞬間。
- ・子どもの成長を保護者だけでなく、その他の職員や子どもたち同士で喜び合えたりすること。
- ・子どもたちの様々な表情に会い、その子たちの成長に貢献できるところ。
- ・利用者がやりがいや仕事に対して意欲(就職したいなど)を感じている姿を間近で見られること。



5 人と向きあい、人生の節目に立ち会う仕事



- ・人の「生」と「死」について仕事をしていくうえで色々考えさせられる。
- ・人それぞれの人生があるという事実。みんな、違うという事実を知ることができるのが魅力。
- ・「死」という場面に立ち会える事で「自分の人生をどう生きるか」について早いうちから考えられる。
- ・最新まで、その人らしい生活を支援していくことができるところに魅力を感じる。
- ・自分との関わりでその人が喜びや安心、ポジティブな感情をひとつでも多く作ってあげたいと思う。
- ・人と人が支えあっていくことで成り立つところ。
- ・人と接する仕事であるため、反応が直に伝わってくることは魅力のひとつであると感じる。
- ・子どもたちの成長や人生の節目に立ち会うことができる。
- ・様々な人の人生に触れ、その人にとって新たな価値観を提供できる点。
- ・人生の先輩方の生き方、人生観にふれること。それがひいては自分自身の人生の糧になる。
- ・人と人との関わりの中からも感じる、やさしさやあたたかさ。またいろんな考え方・感じ方があることに気づいたこと。

あなたはどんな風に人に喜ばれるとうれしい?



6 信頼される仕事



- ・利用者に直接ふれる身体介護を行うことによって、信頼関係が築けることが魅力。
- ・ご利用者から頼られていることが、業務の中でもやりがいを感じる人が多い。
- ・人間関係から信頼関係につながったり、人生について教えていただける楽しさがある。
- ・こちらから人を信じて、相手にも信じてもらう中で信頼関係を築いて、相手も自分も人として広がり、大きくなっていくことは大きな魅力。
- ・子どもや保護者と信頼関係ができた時のやりがい。

7 自分の個性を活かし成長できる、日々学びがあり人間性が豊かになる仕事

- ・それぞれ持つ個性を活かし、日々成長できる。
- ・利用者に対する支援を通して人のことを考える力を養える。
- ・考え方や発想法の幅が広がる。
- ・自分が関わったことのない人たちとのコミュニケーションはとても勉強になる。
- ・自分の知識が増えて様々な価値観を身に付けることができ、視野が広がる。
- ・努力した分、必ず返ってくるものがある。
- ・やさしさと強さが身に付くと思う。
- ・日常のささいなできごとに対する喜びに気づかされる。



8 私の行動で誰かが変わる…人の役に立つ仕事



- ・人のために自分が動くことで自分も満たされる、助けてあげることで自分自身も助けられていると感じる。
- ・誰かのために働く満足感。
- ・自分自身が直接的に人の生きる力になる。
- ・人のために働いている、人の役に立っているということ。
- ・自分が行った支援が利用者の方の安心や自立につながる。
- ・「あなたがいてくれて本当によかったわ」と言ってくれたこと。
- ・自分が必要だと感じられる時。
- ・お年寄りから「ありがとう。あなたでよかった」と言われること。
- ・自身の企画したプログラムなどを通じて、利用者から名指しで「この人の話を聞いたり、この人のいるプログラムに参加したい」という喜びの声をもらうこと。
- ・利用者が自分を頼ってくれた時や、名前を覚えてくれた時に嬉しいと思う。

9 同じ日は1日もなく、毎日新しい発見がある仕事

- ・忙しいイメージがあるが、毎日いろいろな発見できて勉強になる。
- ・利用者様のニーズはどこにあるのか、発見する楽しさ、その過程も醍醐味のひとつ。
- ・同じ日は二度とこない。毎日変化があり楽しい。
- ・専門的な仕事であるが、現場に立つと思ってもよらないことがあったり、毎日が様々で楽しい。
- ・次をどうしたらいいかなど考えたりすることでもっと楽しくなる。
- ・毎日同じことのくりかえしでないことが魅力。
- ・日々に変化があり、時間が経つのが早いほど試行錯誤の毎日ですが、そんな毎日がとてもよい。



10 正解はないが、チームで専門性をもち考え続ける仕事



- ・会社とは違い成績がついたりする仕事ではないが「やりがい」はとても感じる場所。
- ・ノルマや数字ではかれないやりがいがあるところ。毎日心から笑える瞬間があること。
- ・多様な人生観にふれて、自身の視野が広がり、アプローチの仕方が変化する点がやりがいである。
- ・自分で考えてチームで行動できる楽しさ。
- ・困難な事もみんなで支えれば(関係機関など)なんとかなる。
- ・様々な生活のあり方をひとりひとりの中に認めていくことが出来る。
- ・言葉を発することができない利用者さんでも、表情やしぐさで意思疎通ができたときや自ら感じたとき。
- ・個性を知ることができ、その個性に合わせた支援、コミュニケーションを実施することが楽しい。
- ・失敗から次へとつなげられる仕事である。
- ・日々の支援に正解がないこと。
- ・チームで考えた支援を実践して成果がでるとやりがいを感じます。